

Information

美と技と意思をつなぐ

沖縄復帰50年記念 特別展「琉球」

5月15日、復帰50年を迎えた沖縄。本展では美術品に加え考古資料、歴史資料も交え、総合的に沖縄の歴史・文化を紐解く。豊かな海で育まれた「貝の文化」による道具や装身具、日本、東南アジアなどの中継貿易で栄えた琉球王国時代など、先史時代から現代に至るまで網羅的に紹介する。また、首里城の再建や文化財の復元など、近代化や第二次世界大戦での激しい地上戦でもの・技術が失われた沖縄ならではの取り組みも。琉球国王家の鮮やかで見事な装飾品から人々のありのままの日常を感じ取れる美術品まで幅広く堪能してみては。

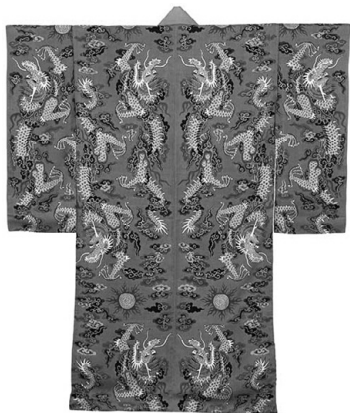
会期：2022年5月3日（火・祝）～6月26日（日）
（7月16日～9月4日は九州国立博物館）

会場：東京国立博物館 平成館（台東区上野公園13-9）

開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）

観覧料：一般2100円、大学生1300円、高校生900円

休館日：月曜日



国宝 紅色地龍宝珠瑞雲文様紅型綾袴衣裳（べにいりじゅうほうじゅずいうんもんようびんがたあやあわせいしよ）（琉球国王尚家関係資料）第二尚氏時代・18～19世紀、沖縄・那覇市歴史博物館蔵、展示期間：2022年5月31日（火）～6月12日（日）

危機的状況が生み出した南北の融和

モガディシュ 脱出までの14日間

上映期間：7月1日（金）新宿ピカデリーほか全国ロードショー

監督：リュ・スンワン

出演：キム・ユンソク、ホ・ジュノ、チョ・インソンほか

配給：ツイン、カルチュア・パブリッシャーズ



©2021 LOTTE ENTERTAINMENT & DEXTER STUDIOS & FILMMAKERS R&K All Rights Reserved.

1990年、舞台はソマリア。韓国は国連への加盟を目指し、多数の投票権を持つアフリカ諸国でロビー活動を展開。一方、先にアフリカ諸国と外交を始めていた北朝鮮も国連加盟を目指しており、両国はお互いに妨害工作などを行う。その矢先、ソマリアで内戦が勃発し、敵味方が入り混じって戦う混乱状態に陥り、各国の大使館でさえも強奪、焼き討ちに遭う。命の危険が迫るなか、韓国と北朝鮮の大使館員たちは生き延びるために協力して国外待避を目指す。子ども兵の多さと残酷さというソマリア内戦の実情と南北間の心理的・物理的な溝、それを越えた融和を韓国側の視点から描いた、実話に基づくストーリー。